

# ひとのちから CLOSE UP



みぞわき・じゅんぺい 昭和49年生まれ、大谷在住。第48代荒尾青年会議所理事長を務める。趣味は野球やサッカーなどのスポーツ観戦。「青年会議所の会員募集中です!」とのこと。

第20回あらお荒炎祭運営委員長

溝脇潤平さん

荒尾の夏の風物詩「あらお荒炎祭」は今年20回目の節目を迎えます。あらお荒炎祭は、市内の団体や企業からなる実行委員会が中心となり準備が進められます。今回運営委員長を務めるのが、溝脇潤平さんです。

溝脇さんに今年の荒炎祭の見どころを尋ねると「ふるさと四ツ星市場です」と瞳を輝かせて話してくれました。四ツ星市場とは、最上級を意味する三ツ星に「荒尾のおもてなしの心」をプラスした四ツ星級の料理・特産品を集めた大物産展です。30もの店が出店し、来場者に満足してもらえるようなおもてなしで、祭りを満喫してもらいます。

また、災害で大きな被害があった東北や阿蘇を復興支援するために現地から仕入れた品を販売し、売上を義援金として被災地へ送る取り組みも行われることになりました。この活動は、今年3月にまちづくり団体である荒尾青年会議所の理事長として、東北での復興フォーラムに参加した溝脇さんの体験がきっかけとなっ

ています。

「現状を目の当たりにすると、言葉になりませんでした。被災地のために何かできることはないかと思ひ、今回この企画を提案しました。当日は多くの人に販売ブースに立ち寄りてもらい、祭りを楽しみながら、現地に思いをさせてほしい」と、溝脇さんは熱く語ります。

最初は運営委員長という大役を果たせるか不安だったという溝脇さんですが、運営委員の仲間たちの献身的な協力を得ながら準備を進める姿は、荒炎祭に来てくれた人に喜んでほしいという思いで溢れています。

「運営側から投げかけるだけではなく、市民と互いに意見を出し合いながら、荒炎祭をつくりあげていきたいですね。一人でも多くの人に来てもらい、楽しんでほしいです。今年は去年の来場者から5千人増の2万人を荒炎祭に呼び込みます!」と溝脇さんは意気込みます。

みんなの熱い気持ちが一つになる記念すべき20回目の荒炎祭、ぜひご期待ください。